

7 発言No.

15

受付No.

9

令和 4 年 8 月 23 日

9 時 19 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 15 番

氏名 岡本 正友

答弁を求める者

(口をつける)

市長

教育長

監査委員

選挙管理委員会委員長

農業委員会会長

固定資産評価審査委員会委員長

公平委員長

発言項目及び要旨

1・SDGs の取組について

17 のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」誓いによる SDGs は、発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本も積極的に取り組んでいる。2030 年までに、包摂的かつ持続可能な都市化を促進し、全ての国々の参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化するとしている。

(1) カーボンニュートラル推進本部について

① カーボンニュートラル推進本部について問う

この度、推進本部(本年 8 月 1 日施行)が設置され、浜田市地球温暖化対策を図るため、実現に向けて包括的な政策を審議する体制を示されたが、庁内推進体制が必要となった理由を問う

2・住み続けられるまちづくり(SDGs 11)について

(1) 既存建築物の利活用と住宅密集地の消火活動について

① 既存建築物の利活用について問う

人口減少社会が進行し空き家が今後も右肩上がりに増加していく。3 年後には、2025 年問題といわれる団塊世代が 75 歳以上の後期高齢者となる時代を迎える。今後その世代が所有していた住宅が中古住宅市場に出回るとの予測もされ、総務省の統計調査では現在の空き家率 13.6%から、現時点で 65 歳以上のみが住む住宅を「空き家予備軍」とした場合の割合は全国平均で 25.2%となり、4 軒に 1 軒の割合にのぼるといふ深刻な状況が示されている。空き家が有効に利活用されるもの(ストック建築)と、問題を先送りする空き家(廃屋)に二極分化されると思うが、認識を問う。

② 住宅密集地火災の消火活動の課題について問う

近年は糸魚川市の大火をはじめ様々な火災が報道を賑わせ、最近の浜田市においても三隅町や元浜町で住宅火災が起きている。住宅密集地における消防活動の障害と課題を問う

3・地域の伝統文化の保存と活用(SDGs 4)について

(1) 伝統文化を生かす地域社会と文化協会について

① 伝統文化を生かす地域社会の維持・継承について問う

市民憲章の中に、「郷土を愛し教養を高め文化のかおるまちをつくります」とし、その実践が浜田市の未来をつなぐと考える。

地域の伝統文化・様式を継承することは即ちSDGsを深耕することにつながる。地域が有している固有の歴史の重みと民族の香りを帯びる地域文化である伝統文化を保全し、創造し活用していく仕組みの現状認識を問う。

② 文化協会のあり方について問う

合併した新浜田市の文化に関わる団体及び伝統産業の実態と文化協会の組織の関わりについて問う